

研究推進部からのお知らせ

2018 年 7 月

連合駿台会からの指定寄付金に基づく連合駿台会学術振興基金をもって「連合駿台会学術賞」・「連合駿台会学術奨励賞」を次のとおり募集することになりましたので、該当する候補者を御推薦くださるよう御案内致します。

「連合駿台会学術賞」は、学術研究上の特に優れた成果に対して、「連合駿台会学術奨励賞」は、学術研究上の優れた成果に対して、授与されるものです。

第 25 回「連合駿台会学術賞・連合駿台会学術奨励賞」の募集について（案内）

- 1 推薦資格 本大学教職員（名誉教授を含む。）・役員・校友
※ 在職 10 年未満の研究者、女性研究者、外国籍研究者については、自薦も可能です。
- 2 受賞資格 本大学の専任教授、専任准教授、専任講師、助教、助手、特任教員及び客員教員（特別招聘教授及び過去受賞者を除く。）

★ 若手研究者支援の観点から、本学在職 10 年未満の研究者の積極的な応募を期待します。

★ 本学が推進している男女共同参画及び女性研究者研究活動支援の観点から、女性研究者の積極的な応募を期待します。

★ 「スーパーグローバル大学創成支援」事業推進の観点から、外国籍研究者の積極的な応募を期待します。
- 3 受賞者数 「連合駿台会学術賞」（若干名）・「連合駿台会学術奨励賞」（3 名以内）
- 4 審査対象 受賞資格者が 2016 年度から 2018 年度までに公表した社会科学、人文科学及び自然科学の 3 分野における著書、論文、作品その他これらに類するもの一点及び一連の業績。（過去に応募された作品を除く。）
- 5 本賞及び副賞 (1) 「連合駿台会学術賞」
本賞は賞状（学長名義）、副賞は賞金 50 万円（税込）を上限とする。
(2) 「連合駿台会学術奨励賞」
本賞は賞状（学長名義）、副賞は賞金 30 万円（税込）を上限とする。
- 6 審査方法 連合駿台会学術賞・連合駿台会学術奨励賞選考委員会において審査を行います。

- 7 提出書類 (1) 推薦書
(2) 候補者の履歴書及び研究業績書
(3) 審査の対象となる作品（印刷された刊行物であること。建築物等、やむを得ない理由により作品等を提出できない場合は、これに代わる資料）6部
※ 電子投稿した場合は、掲載リンク先を明記してください。
(4) 作品の要旨6部。審査の対象となる作品が外国語によるもの場合には、日本語による作品概要、要旨を付していただけますようお願い致します。
(5) その他審査の参考となる資料（任意）

※ 応募書類は不備のないように作成してください。不備のあるものについては、審査対象外となることがあります。また、応募書類等は原則として返却致しません。

8 応募締切日時 **2018年10月5日（金）午後4時まで**

- 9 提出場所 (1) 研究知財事務室
(駿河台キャンパス グローバルフロント6階)
(2) 研究知財事務室和泉分室
(和泉キャンパス 研究棟1階)
(3) 生田研究知財事務室
(生田キャンパス 中央校舎2階)
(4) 中野教育研究支援事務室〔研究推進係〕
(中野キャンパス 低層棟3階)

(お願い) **上記提出書類の(1)及び(2)は所定の書式に記載してください。**所定用紙は研究知財事務室、研究知財事務室和泉分室、生田研究知財事務室及び中野教育研究支援事務室〔研究推進係〕に用意してあります。

※ 所定の書式をデータで希望される場合にはメールアドレス「osri@mics.meiji.ac.jp」まで御請求ください。折り返し送信させていただきます。

※ 詳細等については研究知財事務室までお問い合わせください。
(電話) 03-3296-4268, 4476

注：本賞は、連合駿台会の前身である茗水クラブの創設40周年を記念して寄付された指定寄付金をもとに募集を行っているものです。

前回（第24回・2017年度）の受賞者及び受賞作品

連合駿台会学術賞（3名）

- 1 所 康弘 商学部 准教授（社会科学分野）
作品『米州の貿易・開発と地域統合－新自由主義とポスト新自由主義を巡る相克－』
- 2 須田 努 情報コミュニケーション学部 教授（人文科学分野）
作品『三遊亭円朝と民衆世界』
- 3 相澤 守 理工学部 教授（自然科学分野）
作品「Evaluation of resistance to fragmentation of injectable calcium phosphate cement paste using X-ray microcomputed tomography」

連合駿台会学術奨励賞（2名）

- 1 伊勢 弘志 文学部 助教（人文科学分野）
作品『石原莞爾の変節と満州事変の錯誤－最終戦争論と日蓮主義信仰』
- 2 小山内 崇 農学部 専任講師（自然科学分野）
作品「微細藻類を用いたバイオプラスチック生産法の開発」

以上